

主催：国立大学法人 新潟大学



ギャラリートーク(リレートーク) (新潟大学旭町学術資料展示館)

## 異人池は地域住民の一体感を創出する上で重要な意味をもっている

西大畑のカトリック新潟教会隣接地で、かつて「異人池」の存在した位置のボーリング調査を行った。その土壌サンプルを花粉分析・プラントオパール分析・珪藻分析し、古環境の復元研究を行った。さらに、三芳悌吉の『ある池のものがたり』に描かれた絵の植物と比較研究した。また、西大畑の現在の植生調査(植物採集)を小中学校の夏休みの自由研究に引っ掛けて子供向けに実施し、植生の変化にも光を当てた。加えて、測量調査を行った。それらの成果と、古地図、古写真、絵葉書、絵画などに残った異人池の資料、作品を展示し、市民に鑑賞・見学してもらった。参加児童の学習成果も合わせて展示した。イベントには、親子や、夏休みの自由研究に活用する小中学生も参加し、理科・社会科・郷土史・美術科の学習に役立てることができた。また、考古・地理・植物・美術に関するギャラリートークを開催し、記録集を作成した。

異人池の周辺には、数世代にわたって古くから住み着いている旧家もあれば、マンションなどの住民のように外から新たに転入して来た人々もいる。展示会にはその新旧両住民の来訪があった。この新旧住民のコミュニケーションを図り、住民の一体感を創出する上で、異人池の新たな魅力発見は重要な意味をもっていると感じた。

砂丘館、旧齋藤家別邸、北方文化博物館新潟分館、安吾風の館、新潟市美術館、NSG美術館、新潟大学旭町学術資料展示館などから成る西大畑・旭町地区文化施設の連合体「異人池の会」の連携強化にはもう少し時間が必要だが、記録集の配布などによって今後の連携が大いに期待できる。総合して、地域行政課題となっている地域の文化資源に誇りをもって地域おこし・町おこしの機運を高めることにつながっている。

- 5月17日(木) ボーリング調査(異人池跡地周辺)
- 8月1日(水)~9月7日(金) 展示会(新潟大学旭町学術資料展示館)
- 8月26日(日) ギャラリートーク(リレートーク)(新潟大学旭町学術資料展示館) 他3件